

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】巨木倒木リスク調査事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化伝承課 記念物保護係 電話番号：058-272-1111(内3145)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,247 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,247	0	0	0	0	0	0	0	9,247
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和2年7月11日、岐阜県指定天然記念物「大湫神明神社の大スギ」が倒木した。樹高30m、幹径10m、樹齢600年にもなる巨木の突然の倒壊は全国ニュースとなり、人々に衝撃を与えた。

当初、倒木の理由は令和2年7月豪雨や強風であると考えられていた。しかし後の調査で、豪雨のみでなく、大スギの根が幹や枝の大きさ対し、小さかったことも要因であると報告が行われた。

岐阜県内には、国及び県指定天然記念物の巨樹や巨樹の生育する社叢が144件存在する。そのうち、倒木・落枝等に伴う被害が人や建物に及ぶ可能性の高い69件に対し、樹木の樹勢や育成状況、周辺環境等の調査を行う必要が生じた。

(2) 事業内容

巨樹等が倒木や毀損することで生じる被害防止や文化財の防災・逸失リスク回避を目的とする。

そのために、樹勢、生育状況及び周辺環境等を把握し、文化財の安定的な維持・管理を行うための基礎資料を作成する。

(3) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	95	報償費
旅費	321	費用弁償、業務旅費
役務費	1	通信費
委託料	8,830	倒木リスク調査
合計	9,247	

決定額の考え方

文化財の適正な管理は所有者や管理者によって行われることが原則であることから、計上を見送ります

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

令和2年の岐阜県指定天然記念物「大湫神明神社の大スギ」の倒木で端を発した事業であり、巨樹等が倒木や毀損することで生じる被害防止や文化財の防災・逸失リスク回避するための最初の調査となる。

(2) 国・他県の状況

国及び他県において、倒木リスクを調査した事業は存在しない。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県内には、国及び県指定天然記念物の巨樹や巨樹の生育する社叢が144件存在する。そのうち、倒木・落枝等に伴う被害が人や建物に及ぶ可能性の高い69件に対し、倒木リスクを調査する。巨樹等が倒木や毀損することで生じる被害防止、文化財の防災・逸失リスク回避を目的とし、樹勢、生育状況及び周辺環境等を把握する。最終的に、所依頼に渡る文化財の安定的な維持・管理を行うための基礎資料を作成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	
					達成率	
①調査樹木件数				69件		
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	実施していない。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	実施していない。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	令和2年の岐阜県指定天然記念物「大湫神明神社の大スギ」を境に自治体及び県民の巨樹倒木リスク調査への要求は高まっている。そのため、巨樹等が倒木や毀損することで生じる被害防止、文化財の防災・逸失リスク回避するためにも、県が主体となって実施することが妥当。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 0	令和5年度から行うため不明
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 0	令和5年度から行うため不明

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和5の調査で得られた報告書を基に、文化財の安定的な維持・管理を行うため未調査の巨樹や巨樹の生育する社叢に対し調査を引き続き行う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	